

住民の声

上田の口地区を
お訪ねしました！

上田の口地区は、大方地域の南西部、国道56号周辺に位置し、地区長によると世帯数は110世帯、人口200人ほどで、その内65歳以上の方が95人ほどですが、近年はUIターンにより人口が現状維持といういい状況が続いているとのこと。

また、主な産業は、水稲栽培やハウス園芸などの農業で、その他は会社員も多いとのことでした。おじゃまをした1月3日開催の恒例の役員会では、沢山の温かい笑顔にも出会え、元気を頂きました。

毎年の主要行事の夏・秋のお祭りや、それに先

立つ清掃活動、秋の敬老祝賀会、年3回開催のふれあいサロンなども住民の積極的な参加により、難なくこなされているとのこと。

▼起立した松岡区長の音頭で、新年の役員会の慰労会が…



「ひまわりクラブ」の皆さんによりふれあいサロンも賑やかに(上と左)



地域を見守る「旗山神社」(上)と「天神宮」(右)



▲黒潮町最西部に位置し四万十市と隣接する丸山集落



▲ミネノ下避難道より、西側(左)、東側(右)を望む。手前の川は蠣瀬川

当地区の特徴は、のんびり感と面積が広いことで、以前は意思疎通に時間を要したとのことですが、数年前に交流を目的として、年齢や老若男女を問わないボランティアグループ「ひまわりクラブ」が自発的に立ち上がり、現在、26人ほどで活動中です。

松岡 敬夫区長の声

ふれあいサロンなども賑やかに開催され、参加者も大変喜んでいきます。議会や行政への一言ですが、震災への避難道など、手厚い対策に感謝しています。なお、工事に先立つ説明を請負業者ではなく発注元の町より頂ければ、住民もより一層行政を身近に感じるので…、と思っています。

編集後記

平成31年の幕開けは穏やかな始まりでした。海から上がる美しい初日を観ながら、国内外で多くの自然災害にみまわれた昨年とは違う日常が訪れることを願ったことでした。

平成は4月で終わります。平成とは、「国の内外、天地とも平和が達成される」との意味だそうです。次はどんな思いを込めた、どのような元号となるのでしょうか。

議会も今年度は改選を迎えます。議会は皆様の声が反映される場所です。

これからも、黒潮町の日常が穏やかに過ごせるように思いをお届けください。

(坂本あや)

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 浅野 修一
- 委員 小松 孝年
- 委員 坂本 あや
- 委員 藤本 岩義
- 同 宮地 葉子
- 同
- 同